



題字は達増知事

令和4年5月号

発行所

一般社団法人 岩手県畜産協会

〒020-0605 滝沢市砂辺389番7

☎ 019-694-1300(代)

FAX 019-694-1305

URL: http://iwate.lin.gr.jp

E-Mail: info@iwate.lin.gr.jp

印刷 小松総合印刷



生産者・産地の「収益力アップ」地域と共に

岩手県農林水産部長 藤代克彦

国内外で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、感染拡大から2年が経過したところですが、県内においても、依然として、高止まりの傾向で感染確認が続いています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際情勢の変化等により、燃油や飼料等の資材価格が上昇しており、畜産経営はもとより、農業経営全体に影響を及ぼしています。

このため、県では、全国知事会等と連携しながら、国に対し、原油や資材価格の高騰対策の拡充などを要望しています。

本県の畜産は、農業産出額の6割を占める本県農業の基幹部門であるとともに、牛乳や食肉等の生産、加工、流通を通じた関連産業での雇用機会の創出など、地域経済に大きな役割を果たしており、今後においても、持続的に発展していくことが重要です。

こうした中、本県の酪農・肉用牛は、飼養頭数、産出額において、全国トップクラスの地位にあるものの、経営規模が小さく、生産コストも高いことから、一層の経営体質の強化に向けて、経営規模の拡大や生産性を高めていくことが重要となっています。

このため、県では、経営規模の拡大を志向する生産者の牛舎等の整備に加え、産乳能力の高い乳牛や優良繁殖牛の導入支援のほか、飼料収穫・供給を行うコントラクター等の育成とともに、県や農協等で構成するサポートチームを県内10地域に組織し、酪農の乳量・乳質の改善や、肉用牛の分娩間隔の短縮、子牛の発育改善などの取組を支援しています。

さらに、省力化に向けた発情発見補助装置や分娩監視カメラ等のICTの活用などを進めています。

また、養豚・養鶏については、豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病が、ひとたび発生した場合には、発生農場の被害のみならず、地域経済全体

に深刻な影響を及ぼすことが懸念されることから、発生を防止するための衛生対策の徹底が重要となっています。

昨年度は、県内の農場で、豚熱や高病原性鳥インフルエンザに関連し、殺処分等の防疫措置を行ったところであり、防疫作業に協力いただいた関係機関・団体の皆様に改めて感謝を申し上げるとともに、引き続き、家畜防疫対策への御協力をお願い申し上げます。

県内では、高病原性鳥インフルエンザウイルスが、野鳥から継続的に検出されるとともに、豚熱に感染した野生いのししが、県南地域で初めて確認されるなど、本県での発生リスクが高まっています。

県では、これまで、消毒機器や侵入防護柵の設置への支援、農場の巡回指導などに取り組んでいるところですが、関係者の皆様には、引き続き、消毒や飼養衛生管理の順守など、家畜伝染病の侵入防止対策の徹底をお願いします。

本年10月には、5年に1度の全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催されます。県では、関係団体とともに策定した「第12回全国和牛能力共進会総合戦略」に基づき、これまで、候補牛の計画的な生産とともに、県内10地域に、県、農協等で組織する「鹿児島全共出品候補者支援チーム」を設置し、生産者への個別巡回指導などを行ってきたところです。大会本番まで5か月となりました。上位入賞に向け、チーム岩手として、一致団結して取り組んでいきましょう。

本県の畜産は、これまでも幾多の課題を、関係者が力を合わせて乗り越え、今日の産地を築き上げてきました。生産者の皆様をはじめ、畜産に携わる関係機関・団体が緊密に連携しながら取り組むことにより、現在の課題も乗り越えていくことができるものと確信しています。「収益力アップ」に向け、一丸となって取り組んでいきましょう。

畜産春秋

もくじ

畜産春秋	1	春の風物詩「農用1歳馬共進会・農用馬匹市場」、軽米で開催	9
令和3年度臨時総会の開催	2	家畜の保健衛生(141)	9
令和3年度岩手県獣医畜産業績発表会(岩手県知事賞畜産部門)	3	畜産の研究(137)	10
令和4年度農林水産部畜産課業務方針	5	畜産技術情報(90)	11
令和3年度ミルク診断事業実績について	8	第66回岩手県畜産共進会の開催について	12
春の農作業安全月間	8	子牛市場及び家畜市場成績	12

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

令和3年度臨時総会の開催

令和4年3月8日に一般社団法人岩手県畜産協会の令和3年度臨時総会が開催され、第5回理事会において決定された令和4年度事業計画書及び収支予算書等が報告されました。

小野寺会長挨拶要旨

世界保健機関が、新型コロナをパンデミックと認定（2020年3月12日）してから間もなく丸2年が経過する。特に、今年に入ってからの第6波は、それまでの第5波とは比べものにならないほどの大波となった。

各位においても、事業継続の確保に多大のご苦労をされてきたものと推察する。引き続き感染防止対策には万全を期していただきたい。

さて、2018年12月の「TPP11」を皮切りに、大型の経済連携協定が立て続けに発効した。輸入牛肉は、発効前は、38.5%だった関税率が今年4月には24.1%になる。新型コロナによる世界経済の停滞や輸出国での現地価格の上昇等、様々な要因が重なり、輸入量の増加や国産牛肉の価格下落には至っていないが、今後の動向を注視する必要がある。

国は、「総合的なTPP等関連政策大綱」を基に、畜産経営の体質強化をしてきた。2021年度農林水産省補正予算もその一環で、総額の約1割が「畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進」に充てられ、さらにその約8割は当協会が窓口として実施している畜産クラスター事業と生産基盤拡大奨励事業の予算となっている。事業推進に当たって、会員・準会員の皆様からの一層のご協力をお願いしたい。

一方、協定の影響以外にも、燃油や飼料など資材価格の上昇による収益性の低下が懸念される。今般のロシアによるウクライナ侵攻では、かけがえのない多くの人命が失われている。人道的な見地からも許しがたい暴挙であり、世界全体に混乱を引き起こし、現下の資材価格の高騰に拍車をかける恐れがある。

また、昨年12月に隣県宮城で発生した豚熱や今年2月に本県で初めて発生した高病原性鳥インフ



ルエンザなど、家畜衛生上のリスク増大も懸念材料であり、関係機関・団体の皆様と連携した的確な対応が求められている。

結びに、今年は、「全国和牛能力共進会」が鹿児島県で開催される。県代表の最終選考は7月下旬に、岩手県畜産共進会で行われる。仕上げの時期を迎え、生産者・関係者が上位入賞を目指して、飼養管理に精励されている。県勢の活躍を心からご期待申し上げる。

令和4年度事業計画書(概要)

基本方針

2010年代後半以降、大型の経済連携協定の締結に向けた動きが加速化し、2018年12月の「TPP11(包括的・先進的TPP協定)」を皮切りに、2019年2月の「日EU・EPA」、2020年1月の「日米貿易協定」、2021年1月の「日英EPA」、2022年1月の「地域的な包括的経済連携(RCEP)協定」と、矢継ぎ早に多くの協定が発効した。いずれの協定においても、農業分野では特に畜産への影響が懸念され、国は、「総合的なTPP等関連政策大綱」を数次にわたり改定し、畜産経営の体質強化を支援してきた。当協会も幅広い事業を実施しながら、その一端を担ってきた。

この間、本県の畜産特に酪農経営及び肉用牛経営は、戸数の減少傾向は続いているもののTPP11発効前より飼養頭数は増加し、小規模から中規模へ、中規模から大規模へと生産構造の転換が進んでいる。

一方、2020年の新型コロナウイルスのパンデミックで、世界経済は大きな影響を受けた。パンデミック下で、我が国の食肉輸入量は、牛、豚、鶏ともに前年度比で大幅な減少となったが、2020年度後半から輸入量は総じて回復傾向にある。経済連携

	ご宿泊・ご宴会にご利用下さい。 くずまき交流館プラトール TEL. 0195-66-0555 FAX. 0195-66-0511	乳製品の自宅宅配承っております。 ミルクハウスくずまき TEL. 0195-66-0030 FAX. 0195-66-0031	風車が回る高原の焼肉レストラン レストハウス袖山高原 TEL/FAX. 0195-68-2010
	 一般社団法人 葛巻町畜産開発公社 〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻40-57-125 http://www.kuzumaki.jp	〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻40-57-125 TEL. 0195-66-0211 FAX. 0195-66-0755	

協定の真の影響が現出するのは、ポストコロナのこれからと考えられる。

そうした中、農林水産省は、2021年度補正予算総額の約1割に当たる862億円を「畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進」に充てた。その中心は畜産クラスター事業や和牛増頭に係る事業であり、いずれも当協会が担うものである。

この様な状況を踏まえ、令和4年度については、各種事業の効果的かつ的確な実施に不可欠な関係機関・団体の方々との連携を一層強固にして、今後更に拡大することが予想されるグローバル経済下にも耐え得る本県畜産の確立・経営体質強化に寄与するものとする。

重点事項

- 1 将来を担う経営体を対象とした経営診断・経営技術指導の実施
- 2 地域畜産をけん引する収益性の高い経営体の育成推進
- 3 肉用牛肥育経営安定対策の的確な実施
- 4 家畜人工授精用凍結精液等の安定供給及び適正利用の推進
- 5 登録制度を活用した家畜の遺伝的能力の向上
- 6 自衛防疫意識の啓発と地域ぐるみのワクチン接種推進
- 7 高い精度で安定した生乳検査の実施
- 8 第12回全国和牛能力共進会に向けた県出品牛の最終選抜と出品対策の推進

I 実施事業

- (1) 継続事業1 (80,897千円)
畜産振興を目的として、経営の改善指導・生

産技術の向上指導、経営体の育成啓発、家畜改良の推進指導、家畜衛生の向上指導及び畜産物の安全確保指導、調査並びに情報収集及び提供、家畜生産・家畜改良意欲の増進啓発等に係る事業を実施する。

- (2) 継続事業2 (951,898千円)

肉用牛肥育経営の安定を図るため、月ごとに肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額の9割を補填金として交付する。

- (3) 継続事業3 (216,085千円)

家畜生産農場における家畜伝染病等の清浄化及びまん延防止のため、同居牛のとう汰や組織的な予防接種等を推進する。

II その他事業

- (1) 家畜人工授精用精液流通調整事業

(58,278千円)

本県の肉用牛及び乳用牛の改良増殖を推進するため、家畜人工授精用凍結精液及び受精卵等の供給を円滑かつ安定的に行う。

- (2) 家畜登録事業

(41,667千円)

本県で飼養される乳用牛及び豚の改良を促進するため、家畜登録事業の活用を推進する。

- (3) 生乳検査事業

(83,129千円)

東北地域の農業協同組合等からの委託又は依頼を受けて、生乳取引等に係る生乳検査を実施する。

- (4) その他事業

(2,977千円)

関係機関・団体が行う研修会等への職員派遣を通じて、最新の技術・知識の修得と業務遂行能力の向上を図る。

令和3年度岩手県獣医畜産業績発表会

岩手県知事賞受賞（畜産部門）

カシオペア和牛子牛産地確立の取組

二戸農業改良普及センター 主任農業普及員 峠 館 大 介

1 取組の背景

二戸地域における黒毛和種繁殖経営は、戸数は減少傾向にあるものの、増頭意欲のある生産者等の下支えにより、1戸当たりの飼養頭数は増加傾向にある。和牛生産が地域の主産業とし

て確立するため、生産性の向上により安定した経営を展開することが重要である。

これまで、当地域では市場評価の向上を目的に、管内の繁殖農家を対象とした市場前巡回を実施しており、子牛の発育改善のほか、繁殖成



母豚2,000頭の一貫経営

- ・農場 HACCP 認証農場
- ・良質豚ふん堆肥の供給
- ・徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給

「みなみよ〜とん株式会社」

岩手町大字川口36-242-3

TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373

※精肉のご用命は岩手畜流会(食肉専門店)へ

績向上に向けた技術支援を行った結果、市場取引価格が向上するなど一定の成果が得られた。しかしながら、子牛の発育の分娩間隔で地域間格差が出てきており、飼養管理方法など支援内容の見直しが必要となった。

このことから、繁殖雌牛の分娩前後の適切な管理や繁殖管理技術の向上により、分娩間隔短縮の対策を行い、繁殖成績を向上させ、子牛生産頭数の維持・増大を図る必要がある。また、和牛子牛の生産地としての信頼性を高めるため、哺育から育成期にかけての適正管理や飼料の適正給与の励行により、哺育期の発育向上が必要である。これらの課題解決のため、飼養管理技術の平準化に向けた取組を支援した。

2 活動内容

(1) 「カシオペア和牛子牛育成飼養管理マニュアル」の作成・配布

子牛の月齢に合わせた、発育・飼養管理指標及び出荷目標を明示したマニュアルを作成し、管内繁殖農家全戸に配布した。

(2) マニュアル実証農家巡回の実施

飼養管理マニュアルの実証効果の検証及び将来の地域を担う若手生産者の育成も踏まえた定期巡回を実施した。毎月1回程度巡回し、繁殖状況や子牛の発育状況を確認の上、改善事項等について支援を行った。

(3) 「カシオペア和牛子牛飼養管理指導会」の開催

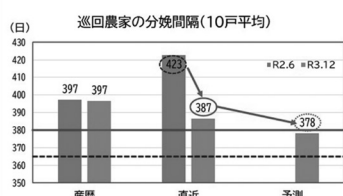
適正な飼養管理技術の習得による、市場評価の地域間格差の是正に向けて、普段見ることのない他の生産者の育成途中の子牛の発育状況を確認した。当管内で初の取組であり、管内関係機関・団体及び改良組合等と連携し開催した。

3 活動成果

(1) 「カシオペア和牛子牛育成飼養管理マニュアル」の作成・配布

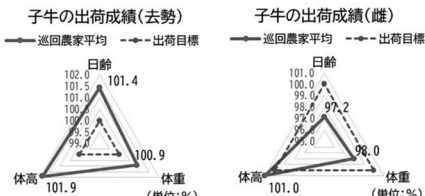
管内共通の発育・管理指標及び出荷目標を明示し、その達成に向けた管理徹底の一助となった。なお、今後はマニュアル

① 繁殖成績



- 分娩間隔は短縮傾向
- 受胎率: 70%以上、発情発見率: 60%以上

② 子牛の発育成績(出荷時)



- 去勢…出荷目標を達成
- 雌…出荷日齢及び体重が目標未達成

図2 巡回対象農家の繁殖成績と子牛の出荷成績

に基づく巡回等の成果を踏まえ、内容を更新し当地域独自のマニュアルを作成し、一層の飼養管理技術の平準化を図る。

(2) マニュアル実証農家巡回の実施



図1 飼養管理マニュアルと出荷目標

巡回対象農家における繁殖成績について、分娩間隔が短縮傾向となった。成績が向上した農家では共通して、牛群の観察を徹底しており、受胎率及び発情発見率が一定以上を維持していた。しかしながら、県目標である380日に至らない農家もあることから、繁殖成績の改善に向け、継続した支援が必要である。

また、子牛の発育については、去勢で出荷目標を達成したものの、雌では目標を達成できなかった。発育が向上した農家においては、牛床の管理など環境改善に取組み、子牛の採食量の確保及び疾病の低減により良好な発育を示した。今後は、雌子牛の発育確保に向けた対策を講じ、出荷目標の達成に向け取組を継続する。

(3) 「カシオペア和牛子牛飼養管理指導会」の開催

今年度、標記指導会を2回開催し、4~5か月齢の子牛の体型測定により発育状況を比較・確認したほか、作成したマニュアルを活用した飼養管理のポイントや市場上場の留意点、加えて、農業研究センター畜産研究所種山畜

動物の健康は人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。

動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品

MPアグロ株式会社

本社:北海道北広島市大曲工業団地6-2-13 盛岡支店:TEL 019(638)3291

産研究室の協力により、家畜改良や種雄牛造成について、参加した生産者が理解を深めた。

る地域間格差があり、その是正に向けた対策を講じる必要がある。

指導会開催後の市場成績について、市場における最高価格取得回数が飛躍的に向上し、農家の意欲向上が図られた。しかしながら、依然として管内にお



写真1 体型測定の様子



写真2 指導会（発育状況確認）の様子

令和4年度 農林水産部畜産課業務方針

II 令和4年度の業務運営方針

1 本年度の業務における主要課題

対策事業の凡例 : ●国庫新規 ○国庫継続 ●国庫新規 △国庫継続 ◇機構事業

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェック方法など)	担当
1 生産性・市場性の高い産地づくりの推進	【目指す姿】 生産者が、生産基盤の強化等により収益力を高め、いきいきと生産活動を行っている		
(1) 大家畜経営への支援 ① 肉用牛	○肉用牛農家1戸当たりの飼養頭数 R2: 23.6頭 → R4: 23.5頭 ○肉用繁殖牛農家の飼養規模 R2: 8.6頭 → R4: 9.5頭 ○県有種雄牛の凍結精液の供給販売 R3: 4,830本 → R4: 12,000本 ○黒毛和種基幹種雄牛の選抜頭数 R3: 69頭 → R4: 72頭 (累計) ○ゲノム解析による県有種雄牛候補造成頭数 R3: 2頭 → R4: 4頭 (累計) ○日本短角種の生産基盤の維持 R3: 2,558頭 → R4: 2,520頭 ※県飼養頭羽数調査	【鹿児島全共「上位入賞」に向けた取組】 ① 県や市町村、農協等で組織する「鹿児島全共出品候補者支援チーム」による、出品候補者への個別巡回指導の実施(4~10月(1~2回/月)) ② 出品候補牛の飼養者への調教や粗飼料類回給与等の掛かり増し経費の支援 ③ 鹿児島全共の出品対策の検証及び次期北海道全共に向けた指導者や担い手を対象とした出品対策スキルアップ講習会の開催(12月) (いわてモーモープロジェクト推進事業(◎)) 【岩手県酪農・肉用牛近代化計画に基づく規模拡大・生産性向上への支援】 ① 規模拡大志向農家に対する生産基盤の整備の支援 ・関係機関・団体で組織する「いわて肉用牛サポートチーム」による経営計画策定の支援 ・牛舎整備: 1戸(哺育育成牛舎70頭1棟、繁殖牛舎55頭1棟、堆肥舎1棟) ・飼料基盤整備: 6戸26.91ha(うち、公共牧場等複合経営3戸24.11ha) 〔畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(△) 農山漁村地域整備交付金(△)〕 ② 畜産公共事業の推進 ・R6年度以降の新規地区掘り起しに向けた現地機関等担当者研修会の開催(6月・1回) ③ 優良繁殖雌牛の導入の支援 ・700頭導入見込み(4~3月) 〔肉用牛経営安定対策補完事業(◇) 生産基盤拡大加速化事業(和牛の増頭奨励金(△))〕 ④ キャトルセンターの体質強化等への支援 ・「いわて肉用牛サポートチーム」による体質強化に向けた運営及び飼養管理技術向上の支援(4~3月) (ゼロ予算) ⑤ 生産性の向上 ・関係機関・団体で組織する「いわて肉用牛サポートチーム」による繁殖成績改善や子牛の発育確保などの取組の支援(4~3月) ・子牛等の生産性向上に向けた研修会の開催(12月) ・生産者に的確な技術指導ができる指導者養成に向けた研修会の開催(7月、2月) ・和牛子牛市場での生産者相談窓口の開設(5日/月×12か月=60日開催/年) ・和牛子牛市場での家畜市場通信の配(12回) (ゼロ予算)	特命担当 (和牛改良推進) 畜政担当 振興担当 畜政担当 畜政担当 振興担当 振興担当

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ



プレミックス工場 0198-26-4726 (代) 家畜衛生食品検査センター 0198-26-5375 (代) 大館(営)、横手(営)、青森(営)、古川(営)、山形(営)、酒田(出)、福島(営)、旭川(営)、札幌(営)、帯広(営)、釧路(出)

<動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材>

本社 〒025-0311花巻市卸町66番地 TEL 0198-26-4151 (代)
花巻(営) 0198-26-4700 (代) 八戸(営) 0178-34-2284 (代)
大船渡(営) 0192-26-4740 (代)

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェック方法など)	担当
		<p>⑥ 関係者の連携強化 市場開設者、出荷団体、生産者部会等と県有種雄牛を含めた種雄牛の絞り込みに向けた検討の実施（5～12月 3回） （いわて肉用牛躍進運動推進協議会構成員の所管事業）</p> <p>【黒毛和種優良種雄牛の造成と利用促進】</p> <p>① 基幹種雄牛の選抜〔2頭（直接検定牛9頭、現場後代検定3セット）〕 ② ゲノム解析技術による県改良目標を上回る全国トップレベルの種雄牛の早期造成の推進〔若雌牛及び種雄牛候補牛のゲノム評価（約500頭）〕 ③ 県有種雄牛の利用拡大に向けた種山畜産研究室の専門職員（たねやま営業部）による県有種雄牛のPR強化 ・凍結精液の配送業務への随行及び凍結精液の販売促進活動の実施（毎月） ・和牛専門誌での県有種雄牛の情報の広告掲載による全国への情報の発信（2誌、5月、9月） ④ 「いわて牛」の評価向上のための県有種雄牛産子限定の枝肉共励会の開催（2月） ⑤ 新規基幹種雄牛の生産者表彰（知事賞）や研修会等を活用した種雄牛のPRの実施</p> <p style="text-align: right;">〔いわて和牛改良増殖対策事業（○） いわて牛産地育成革新技術推進事業（◎） いわて県有種雄牛利用推進事業（○） いわてモーモープロジェクト推進事業（◎）〕</p> <p>【日本短角種（いわて短角和牛）の地域内一貫生産の推進】</p> <p>① 優良種雄牛の造成と地域への貸付（令和4年度54頭貸付見込み） ② 優良繁殖雌牛の導入の支援 ③ 優良繁殖雌牛を放牧するエリート牧場の管理運営経費（肥料・土壌診断）の支援 〔日本短角種集団育種推進事業（○） 肉用牛経営安定対策補完事業（◇）〕</p>	<p>振興担当</p> <p>特命担当 (和牛改良推進) 振興担当</p> <p>特命担当 (和牛改良推進) 振興担当</p>
<p>② 酪農</p> <p>○経産牛1頭当たりの305日乳量 R2：9.731kg ⇒ R4：9.890kg</p> <p>○酪農ヘルパーの不足要員数の解消 R3：専任ヘルパー不足人数16人 ⇒ R4末：不足0人</p> <p>○牛群検定加入戸数 （飼養規模20頭以上加入戸数/飼養規模20頭以上戸数） R1：277戸/469戸 ⇒ R3：284戸/469戸 （R3：牛検加入戸数372戸）</p> <p>○体細胞数50万/ml未満の割合 R3：95.4% ⇒ R4：95.0%以上 ※R2年数値は、R3.4～R3.12</p>		<p>【岩手県酪農・肉用牛近代化計画に基づく規模拡大・生産性向上への支援】</p> <p>① 規模拡大志向農家に対する生産基盤の整備の支援 ・関係機関・団体で組織する「いわて酪農の郷サポートチーム」による経営計画策定の支援 ・牛舎：1戸1棟 等 ・飼料基盤整備：6戸32.51ha（うち、公共牧場等複合経営3戸24.11ha） 〔畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（△） 農山漁村地域整備交付金（△）〕</p> <p>② 畜産公共事業の推進 ・新規地区における事業計画策定の支援 ・R6年度以降の新規地区掘り起しに向けた現地機関等担当者研修会の開催（6月・1回）</p> <p>③ 関係機関・団体で組織する「いわて酪農の郷サポートチーム」による牛群検定分析データを活用した農家の生産性向上の取組の支援（4～3月） （いわて酪農の郷総合対策事業（○））</p> <p>④ 外部支援組織の育成・強化 ・酪農ヘルパー要員の確保・定着化等に向けた取組（要員募集CMやインターンシップ、就業環境改善）の支援（15組合） ・「いわて酪農の郷サポートチーム」によるヘルパー利用組合の目指す姿の実現に向けた取組の支援 ・酪農ヘルパーの体制強化に向けた研修会の開催（11月） 〔酪農経営支援総合対策事業（◇） 岩手県酪農ヘルパー人材確保定着化推進事業（○）〕</p> <p>【産乳能力の向上と高品質乳生産の推進】</p> <p>① 関係機関・団体で組織する「いわて酪農の郷サポートチーム」による牛群検定分析データを活用した農家の生産性向上の取組の支援（4～3月）【再掲】 ② ミルキングシステム診断の支援（5～11月） ③ A T検定法の普及に向けた実証（4～3月） 〔いわて酪農の郷総合対策事業（○） 酪農経営支援総合対策事業（◇）〕</p>	<p>畜政担当 振興担当</p> <p>畜政担当</p> <p>振興担当</p> <p>振興担当</p> <p>振興担当</p>
<p>③ 大家畜共通</p>		<p>【飼養管理技術向上と経営高度化のための指導支援】</p> <p>① 畜産コンサルタント等による農家個別指導及び地域研修会の開催 ② 県HPによる畜産関係情報の発信 （畜産振興総合対策推進指導事業（○））</p> <p>【スマート畜産技術の活用による生産性の向上支援】</p> <p>① 技術毎の導入を推奨する飼養規模の整理及びサポートチームによる国庫補助事業を活用した畜産ICT機器の導入の支援 ② 「スマート共同放牧場実践支援事業」の取組成果の周知及び国庫補助事業を活用した畜産ICT機器の導入の支援 〔畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（△） 畜産経営体生産性向上対策事業（△） スマート畜産の全国展開に向けた導入支援事業（●）〕</p>	<p>畜政担当</p> <p>畜政担当</p>

●共進会用 馬・乳牛} 用頭給手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・ ●牛馬手入用毛ブラシ
肉牛 } 肉牛用牛衣・ 根ブラシ・金くし


●普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・鞍馬具一式・畜犬具

●電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯

●せんでい鉄ケース他造園工具ケース類 ●その他特別御注文のカバン等承って居ります

創業110年品質第一手造りの店
岩手県指定店 **塩釜馬具店**
盛岡市大沢川原2丁目2の32 TEL 019-622-5393 (労働福祉会館隣)

項目 (何を)	達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (重要なプロセス・チェック方法など)	担当
(3) 中小家畜経営への支援 養豚・養鶏	○子実とうもろこし生産量 R3: 149,957kg ⇒ R7: 169,600kg	【水田を活用した自給飼料の増産】 ① 飼料用米の生産・利用の拡大 ・需要調査に基づく需要者リストの作成及び地域農業再生協議会への情報提供による地域のマッチングの支援 (12月・1回) ② 水田を活用した子実とうもろこしの作付・利用の拡大 ・耕畜連携の促進に必要な乾燥調製・保管施設の整備、収穫用コンバイン等の導入の支援 (畜産生産力・生産体制強化対策事業 (△)) 【生産基盤の整備支援 (養鶏)】 整備志向取組主体の整備・経営計画作成支援 (畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (△))	畜政担当 振興担当
(4) 自給飼料の増産	○飼料作物作付面積 R3: 46,000ha ⇒ R4: 46,600ha ○コントラクター等による作業受託面積 (飼料収穫) R2: 3,261ha ⇒ R5: 3,361ha ○飼料用米作付面積 R3: 4,683ha ⇒ R4: 4,683ha ○稲WC S 作付面積 R2: 1,758ha ⇒ R4: 1,758ha ○水田等における放牧面積 R2: 499ha ⇒ R4: 499ha ※放牧利用実態調査 (R3実績はR4.5月に判明)	【飼料基盤造成整備の推進】 ① 飼料基盤の整備35.31ha、実施設計の実施 ② 新規地区の掘起し 〔農山漁村地域整備交付金 (△) 農業競争力強化農地整備事業 (△)〕 【公共牧場の機能強化】 ① モデル牧場の令和4年度取組の進捗状況の確認、令和5年度取組計画の検討 (5月、12月) ② 国庫補助事業の活用による草地の生産性向上等の支援 (4~9月) ③ 牧野職員の草地管理等技術力向上に向けた現地研修会の開催 (9月) ④ スマート農業技術の事例集の活用による牛群管理等の省力化に向けたICT機器等の導入の促進 (4~9月) 〔農山漁村地域整備交付金 (△) 公共牧場機能強化等体制整備事業 (△) 草地難防除雑草駆除技術実証事業 (△) 公共牧場 Reborn 事業 (ゼロ予算)〕 【コントラクター等外部支援組織の育成・強化】 ① 地域におけるマッチングの進捗状況の確認、令和5年度取組計画の検討 ② 就職説明会等へのコントラクターの参加促進等、人員確保に向けた取組の支援 ③ 作業の効率化に向けた機械の故障リスク低減研修会等の開催 【水田を活用した自給飼料の増産】 ① 飼料用米及び稲WC S の利用の拡大の支援〔再掲〕 ・需要調査に基づく需要者リストの作成及び地域農業再生協議会への情報提供による地域のマッチングの支援 (12月・1回) ② 水田を活用した自給飼料の生産拡大〔再掲〕 ・耕畜連携の促進に必要な乾燥調製・保管施設の整備、収穫用コンバイン等の導入の支援 (畜産生産力・生産体制強化対策事業 (△)) 【水田等を活用した放牧の促進】 隔障物の整備や牛の導入など放牧の取組に係る支援、耐湿性の高い牧草品種導入等の普及 (畜産生産力・生産体制強化対策事業 (△))	畜政担当 畜政担当 畜政担当 畜政担当 畜政担当
(5) 家畜排せつ物の良質堆肥化と流通促進	○家畜排せつ物法に基づく適正処理割合 R2: 100% ⇒ R3: 100%	【家畜排せつ物の適正管理と堆肥の利用促進】 地域協議会による巡回指導等 (通年)、家畜排せつ物法施行状況等調査 (12月) の実施 【家畜排せつ物の適正処理に向けた施設整備の推進】 老朽化施設の機能保全と長寿命化 (久慈市堆肥センター) ・外壁膜張替え、鉄骨補修・交換、建具工事 (農山漁村地域整備交付金 (△)) 【バイオマスエネルギーの利活用促進に向けた支援】 家畜排せつ物由来のバイオマス施設の運営等の情報収集 〔主なバイオマスエネルギー発電稼働施設〕 ・葛巻畜産開発公社メタン発電施設 ・(株)バイオガスパワーしずくいし ・十文字チキンカンパニーバイオマス発電所 【みどりの食料システム戦略への対応】 畜産分野のCO2ゼロエミッション化に向けた家畜の消化管内発酵で発生するメタンや、家畜排せつ物処理に伴い発生する亜酸化窒素の排出低減の支援 ① 酪農家が行う環境負荷軽減 (不飽和脂肪酸カルシウムの給与等) の取組の支援 (環境負荷軽減型持続的生産支援事業 (△)) ② 堆肥の高品質化やベレット化等に必要な施設、機械の導入の支援 (畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (△))	畜政担当 畜政担当 畜政担当 畜政担当
(6) 経営安定対策	○畜産・酪農経営安定対策への加入率 肉用子牛 R3: 96.9% ⇒ R4: 100.0% 肉用肥育牛 R3: 71.3% ⇒ R4: 100.0% 豚 R3: 64.7% ⇒ R4: 60.0% 肉用鶏 R3: 100.0% ⇒ R4: 100.0% 配合飼料 R3: 54.4% ⇒ R4: 55.0%	【畜産・酪農経営安定対策の周知と活用促進】 広域振興局担当者会議等を通じた制度の周知及び関係団体を通じた加入者への周知・活用誘導 〔プロイラー価格安定対策事業 (○)、肉用子牛生産者補給金制度 (△) 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (△)、肉豚経営安定交付金制度 (△) 配合飼料価格安定制度 (△)〕 【畜産関連制度資金の周知と活用促進】 ① 畜産関連資金の要望の取りまとめ (5月、8月、11月、2月) ② 融資に係る研修会等の開催、県HPによる情報提供等 (畜産特別資金融通事業 (◇))	畜政担当 振興担当 畜政担当



家畜改良事業団では、牛凍結精液の他、全国的な評価が高まっている体外受精卵 (IVF卵)、発情周期の同調純性発情・卵巣停止に効果を発揮するイーザーブリード、凍結精液の保存容器 (MVE社製) を取扱っております。ご利用についてのお問い合わせは、パンフレットのご請求は、盛岡種雄牛センターまでお願い致します。

一般社団法人 家畜改良事業団盛岡種雄牛センター

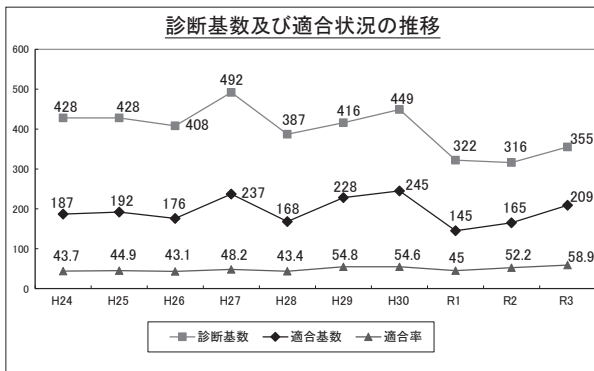
〒028-4134 岩手県盛岡市下田字柴沢301-5
TEL 019-683-2450 FAX 019-683-1334 <http://iaj.or.jp/morioka/>

令和3年度ミルクング診断事業実績について

令和3年度のミルクング診断事業は、関係の皆様のご協力の下に、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、無事終えることができました。心から御礼申し上げます。受診された方々には、改善すべき事項等について、その場でご説明させていただきました。生産する生乳の安全・安心確保に向けて、適切な対応をお願いします。事情により受診できなかった方は、以下に記載の主な指摘事項を参考にして、搾乳衛生の向上・乳質改善に取り組んでいただければ幸いです。

1 ミルクングシステム診断

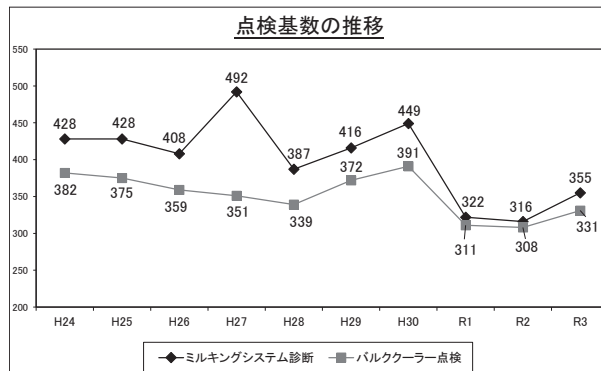
- (1) 実施基数 355基
- (2) 内訳
 - ア バケットミルクカー 93基(26.2%)
 - イ パイプラインミルクカー 257基(72.4%)
 - ウ パーラー・システム診断 5基(1.4%)



- (3) 結果
 - ア 適合 209基 (58.9%)
 - イ 不適合 146基 (41.1%)
- (4) 主な指摘事項 (複数指摘)
 - ア 真空ポンプ各部の汚れ 182基(51.3%)
 - イ プラント全体のエア漏れ 144基(40.6%)
 - ウ 真空ポンプの能力不足 102基(28.7%)
 - エ 真空ポンプのベルトの状態 73基(20.6%)
 - オ ミルク配管の汚れ 72基(20.3%)

2 バルククーラー点検

- (1) 実施基数 331基
- (2) 内訳
 - ア 開放型 197基(59.5%)
 - イ 密閉型 134基(40.5%)
- (3) 主な指摘事項 (複数指摘)
 - ア パッキン類の劣化 33基(10.0%)
 - イ コックの分解洗浄の実施 32基(9.7%)
 - ウ 温度計の誤差 32基(9.7%)
 - エ バルク蓋、マンホールパッキンの状態 26基(7.9%)
 - オ コックの汚れ 23基(6.9%)



春の農作業安全月間

岩手県は、令和4年4月15日(金)から6月15日(水)までを「春の農作業安全月間」として、農作業事故防止運動を展開しています。

今年度のスローガンは、「**農作業 ゆとりと声かけ 二刀流**」です。自分のため、家族のため、地域のためにも、安全な農作業に心がけてください。

【事故防止の7つのポイント】

- ★トラクターに安全フレームの装着
- ★運転者はシートベルトを着用
- ★水分・塩分補給などの熱中症対策を十分に
- ★強風・乾燥時は野焼きをしない
- ★作業は準備と注意をしっかりと
- ★家族に作業場所と帰宅時間を知らせる
- ★携帯電話を身に着けて

○草地造成地用に
 チョリ リンサン 刈
 草地484号 14-28-14

○苦土の補給に
 チョリ リンサン 刈 外
 草地211号 20-10-10-5

○カリ過剰対策に
 チョリ リンサン 刈 外
 草地NP260号 12-6-0-9

草地NP420号 24-12-0-7

豊かな大地を育む

B.B.肥料株式会社

〒025-0312 花巻市二枚橋第5地割146番地 TEL0198-26-3313 FAX0198-26-3316

春の風物詩「農用1歳馬共進会・農用馬匹市場」、軽米で開催

4月9日、軽米家畜市場で、九戸畜産農業協同組合主催の第71回農用1歳馬共進会と第72回農用馬匹市場・春市場が開催されました。

「農用1歳馬共進会」では、農家が手塩にかけて育てた10頭の出場馬の中から、滝沢市の斉藤喜征さん出品の日本輓系種「第二藤姫」(雌)が1等賞に輝きました。

共進会終了後に開かれた「農用馬匹市場・春市場」では、日本輓系種やポニーなど計100頭が上場され、県内外から集まった購入人や関係者を前にして「手競り」が行われました。

販売最高額は、岩手町の五十嵐修さんが上場した日本輓系種「清瀧」(8歳去勢、毛色・青)の225万円(税抜)で、前年の最高額180万円を大きく上回りました。

会場には、多数の入場者が訪れ、昔ながらの手

競り風景を楽しんでいました。時折発する馬のいななきが、北国に本格的な春の到来を告げていました。



「第二藤姫」号



せり風景

家畜の保健衛生 (141)

複雑怪奇な牛ウイルス性下痢を予防するために

牛ウイルス性下痢(BVD)は、BVDウイルス(BVDV)の感染による届出伝染病です。病名からは、下痢を起こす病気と想像できますが、下痢の他に、呼吸器症状も起こします。また、妊娠牛が感染した場合には、流死産や異常産を引き起こし、繁殖成績低下の原因にもなります。さらに、妊娠初期の牛が初めてBVDVに感染した場合、胎子の免疫システムに異常をきたし、生涯に渡りBVDVを排泄し続ける持続感染(PI)牛が産まれてしまいます。そしてこのPI牛は他の牛への感染源となります。PI牛の多くは外見上健康牛と見分けが付きませんが、その牛から生まれた子牛は必ずPI牛になります。また、PI牛は将来的に消化管の粘膜が冒される粘膜病を発症し、致死的な経過をたどります。この複雑怪奇な病気の対策として、BVDVの感染源となるPI牛の摘発淘汰

とPI牛の子牛を生産させないためのワクチン接種が重要になります。

1 BVDVの遺伝子型の違いによるワクチンの効果

BVDVは遺伝子型により1型と2型に分類され、1型はさらに複数の亜型(1a、1b、1c等)に細分されます。BVDVが含まれる市販ワクチンには、1型のみ又は両型が含まれるものが数種類あります。接種したBVDVワクチンと感染したBVDVの遺伝子型が異なるとワクチンの効果はありません。つまり、BVDV1型のみ含まれているワクチンを接種した場合、BVDV2型の感染は防ぐことはできません。

2 適正なワクチン接種のポイント

(1) 育成期における生ワクチンの接種

新たなPI牛を増やさないためには、母牛の初乳から得た移行抗体が体内から消失する育成期(6か月齢から種付けの1か月前の牛)に強力な免疫を誘導する生ワクチンを接種することが重要です。なお、妊娠牛に生ワクチンを接種するとPI牛が産まれる可能性があるため、2回目以降の追加接種は、年に1回

給飼を変える↑
経営が変わる

給飼管理・繁殖管理・育成管理・環境管理・飼養管理

オリオングループはお客様と共に未来を創造して参ります

中央オリオン株式会社 岩手営業所 滝沢市穴口203番地13 TEL 019-641-4545

不活化ワクチンを使用することを推奨します。

(2) 流行中のBVDV 遺伝子型が含まれるワクチンの接種

国内や県内で流行しているBVDVの遺伝子型を考慮してワクチンを選定することが重要です。下図は、これまで県内で検出されたBVDVの遺伝子型を調査した結果を示しています。20年前ではBVDV1型(1a、1b、1c)が約9割を占め、2型は少数でしたが、近年では2型が約3割と増加していることが分かりました。国内においても同様の傾向が確認されています。このことから、ワクチンにはBVDV1型及び2型が含まれていることが必須となります。

適正にワクチンを接種することで新たなPI牛が生まれることを防止し、複雑怪奇な本病の発生を減らすことが可能です。特に複

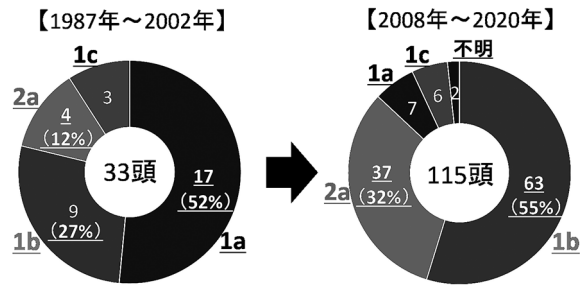


図 PI牛から検出されたBVDVの遺伝子型の推移

数農場から牛が集まる集団預託施設や公共牧場にPI牛が移動してきた場合、免疫を持たない妊娠牛がBVDVに感染し、帰場後に複数の農場でPI牛が産まれてしまい、その被害が甚大となる恐れがあります。そうしたことを避けるため、十分な免疫を獲得した状態で牛を移動するように心がけましょう。

畜産の研究 (137)

【乳用牛群検定データの集計・分析情報の利用について】

乳用牛群検定は、個体毎に乳量、乳成分、乳質、繁殖記録などのデータを毎月1回記録し、集計・分析した検定成績表が酪農家に通知され、生乳の品質管理、飼養管理、繁殖管理、牛群改良など、酪農経営の多岐にわたる項目の改善に活用できる仕組みです。

岩手県では、令和3年度から畜産研究所が牛群情報分析センターを担っており、収集されたデータが地域で役立つように、3つの視点で工夫や検討を重ね、集計や分析を実施しています。

視点1 市町村単位で特徴を分析し、地域の課題解決を応援します！

検定成績の集計を市町村単位に隔月で実施しており、地域ごとの産乳成績や繁殖成績について過去一か年の推移を情報提供しています。地域の特徴や課題が明瞭になることで、生産性の向上や課

題への対応策検討の一助としての活用が期待されます。

集計結果は県庁畜産課を経由して農業改良普及センターや振興局に提供しています。

視点2 検定成績の各項目を関連させた分析を行い、より詳細な結果を提供します！

令和3年度は、2018年6月から2021年9月までの期間に分娩が判明した2産次以上の全ての乳牛31,916頭について、乾乳日数の長短が、その後の産乳成績や繁殖成績に及ぼす影響を調査しました。

令和4年度以降は、飼養管理内容(TMRと分離給与、乾乳期の管理方法)や自給飼料基盤面積、外部支援組織(TMRセンターや公共牧野)の利用有無などの情報を検定データと関連させ、産乳・繁殖成績に及ぼす影響を詳細に分析し情報提供する予定です。

視点3 検定成績の詳細な分析で、解決すべき課題の明確化を図ります！

生産性の向上を目指す上で解決すべき課題は様々ありますが、解決に向けた対策を考えるには、核心がどこにあるのか、明確にすることが重要です。

例えば、夏季の暑熱ストレスは、産乳性や繁殖性の低下を招く要因ですが、2018年5月から2021年8月までの期間に分娩した県内の検定牛47,451頭を月別に集計したところ、分娩頭数は各年とも7月もしくは8月に最多となり、年次が進むに従い増加していました。一方で5月と6月は、

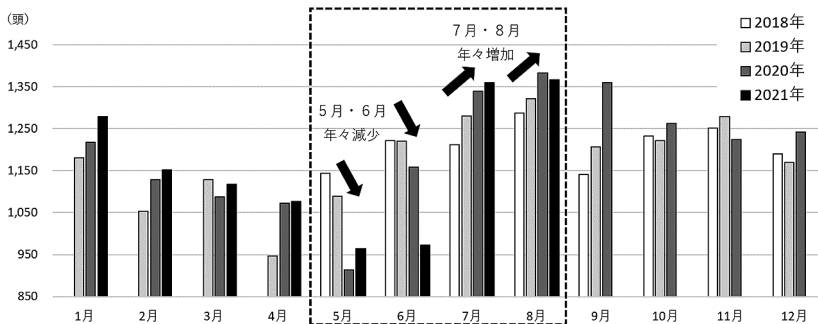


図1 県内の牛群検定加入牛における2018年5月から2021年8月までの月別分娩頭数の推移

年次が進むにつれ減少しています(図1)。このことは、前年8月から9月の受胎頭数が年々少なくなり、10月から11月にかけて増加したことを示し、夏季の受胎遅延が鮮明になっていることが推測できます。

この他にも、分娩月次ごとに産乳量、乳成分、初回授精日、授精回数、空胎日数などを複数年の推移で地域ごとに示すことで、解決すべき課題が明確化され、所得向上の一助となるものと考えています。

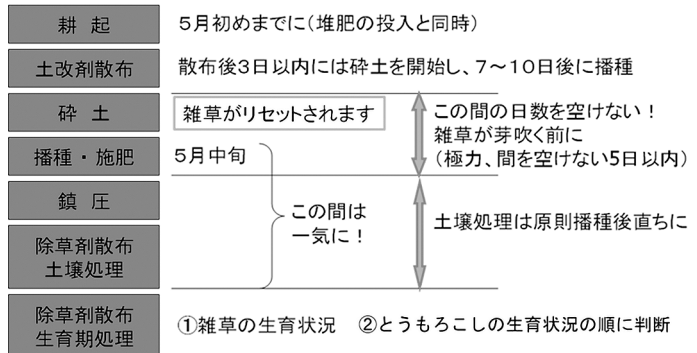
畜産技術情報(90)

～春先から初夏にかけて～

1 飼料用とうもろこしの播種と排水対策のポイントについて

(1) 播種

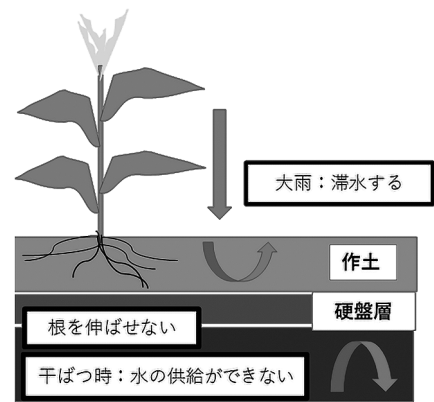
収量を安定して確保するためには、飼料用とうもろこしの初期生育が順調であることと雑草の確実な防除が重要です。播種は霜の降りない時期で平均気温10℃の頃を目安とし、播種床の準備から除草剤の土壌処理までの一連の作業を計画的に進めます。作業工程の「砕土」と「鎮圧」は、出芽揃いと土壌処理除草剤の効果に影響するので、しっかり行います。



(2) 排水対策

大雨で滞水しやすい、あるいは降雨量が少ないと生育が停滞しやすい畑は、作土の下に硬く締まった土層(硬盤層)ができている可能性があります。サブソイラ等により硬盤を破碎することで、排水性と土壌水分の利用率が高まり、収量の安定確保につながります。

サブソイラをかける場合は、土壌が乾燥している時に行います。畑の表土が乾いている状態で、手で土を握り、手を開いて「水滴がたれず、土が2～3個の塊に崩れる」程度が作業を行う目安になります。



2 牛舎の暑熱対策の準備について

本格的な暑さが続くのは6月下旬以降ですが、その前に牛舎環境を整備しましょう。暑熱対策は、舎内温度を上げないこと、牛の熱放散を促すことが重要になります。屋根からの輻射熱を防ぐため、屋根表面への遮熱塗料やドロマイト石灰の塗布、散水、屋根裏面への断熱材の設置や吹き付けが有効です。また遮光ネット等で牛舎に射し込む日光を遮ることも大切です。牛体周辺の空気の流れを作るとは、牛の熱放散を促し体感温度を下げるため重要です。換気扇の掃除や取付位置の調整、換気扇の増設なども併せて準備しておきましょう。



遮光ネットで日光の侵入を遮断



換気扇の掃除で風速が回復(左:前、右:後)

お知らせ

第66回岩手県畜産共進会の開催について

岩手県畜産共進会は、本県における家畜改良増殖の促進と畜産農家相互の研鑽を図ることを目的として開催するものです。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により種畜（黒毛和種、ホルスタイン種、日本短角種及び馬）の部が中止となりましたが、今年は、感染防止対策を徹底した上で、開催することとしています。

なお、黒毛和種の部については、本年10月に

鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会の出品牛の最終選抜を兼ねています。

総合開会式は、7月27日(水)午前9時から黒毛和種の部の審査開始前に開催する予定で、全体の開催日程は次のとおりです。

Table with 3 columns: 出品家畜, 開催月日, 会場. Rows include 黒毛和種, ホルスタイン種, 日本短角種, 馬, 肉牛.

主催：(一社)岩手県畜産協会
後援：岩手県、JA全農いわてほか

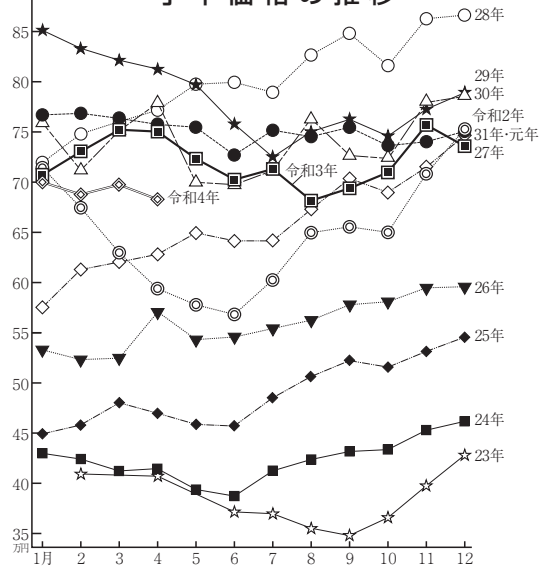
県内黒毛和種子牛市場成績

(全農岩手県本部)

Table showing market performance for black and white Wagyu steers in Iwate Prefecture, comparing March and April 2022. Columns include market division, sex, head count, average price, and average weight.

※ 価格は円(税込み)、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

Table showing the performance of designated meat calves in Iwate Prefecture, comparing March and April 2022. Columns include division, head count, and average price.

※ 指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛(区分ごとに体重の範囲が定められている。)
※ 平均価格は消費税込み

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる!畜産!5

畜産現場の"今"を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846



スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産